

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 指定難病等医療費助成事務外部委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2583)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 27,056 千円 (前年度予算額：26,342 千円)

(総事業費 H31～R4 年度 計 79,356 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	26,342	438	0	0	0	0	0	0	25,904
要求額	27,056	457	0	0	0	0	0	0	26,599
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 指定難病医療費助成事務の業務量については、対象疾病の拡大や申請者数の増加等により今後も増加していくことが見込まれている。
- 更新申請が集中する時期に保健医療課及び各保健所で20名程の短期雇員を確保し処理を行ってきたが、平成29年度に実施した事務見直しを踏まえ、令和元年6月から外部委託を導入することで、一連の事務処理を今後も安定的に遂行できる体制を確保した。

(2) 事業内容

- 指定難病及び小児慢性特定疾病の医療費助成事務に外部委託を導入
期間：令和元年6月～令和4年5月 (3年間)

○外部委託する業務

ア 保健医療課担当業務

- 保健所から進達された申請書類等のチェック、担当委員による事前審査の準備、受給者証及び不認定通知書の作成・発送 など

イ 保健所担当業務

- 受給者証の発送、受給者への更新案内の発送

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県で負担（委託業務の一部に国費が充当可能）

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
委託料	27,056	外部委託費（令和3年4月～令和4年3月）
合計	27,056	

* 外部委託の導入により、保健医療課で指定難病医療費助成事務に従事する難病対策業務専門職（2名）、第1種雇員（2名）及び短期雇員（第3種）を令和元年度から削減

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・ 20都府県が指定難病医療費助成事務に外部委託を導入。うち5都府県（東京、大阪、奈良、高知、鹿児島）が幅広い業務について外部委託を活用。他県市においても検討が進んでいる。

外部委託の導入による効果

- ・ **県民サービスの向上**
 - 受給者証の発送業務などを外部委託することで、受給者証を従前よりも1週間ほど早く申請者へ届けることが可能
- ・ **保健医療課難病対策系の業務量削減**
 - 指定難病等医療費助成事務に外部委託を導入することで、保健医療課難病対策系の業務量を約1人量削減できる見込み
- ・ **保健所職員の負担軽減**
 - 受給者証と更新案内の発送業務を外部委託することなどで、保健所における業務処理時間が20%近く削減できる見込み

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ＊業務量の増加が見込まれている指定難病医療費助成事務について、今後も安定的に遂行できる業務処理体制を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
/	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
/	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

業務量の増加が見込まれている指定難病医療費助成事務について、今後も安定的に遂行できるよう、外部委託を導入するものであり、客観的な成果指標の設定が困難であるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	

